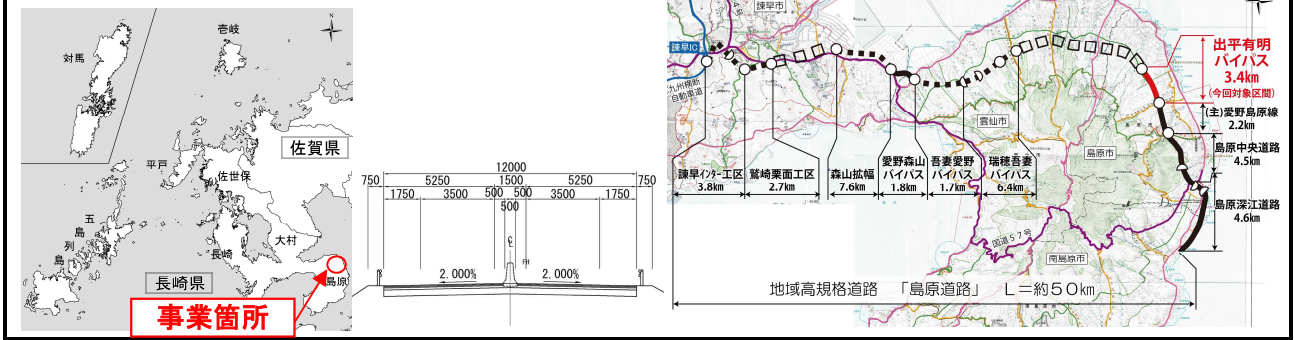


再評価結果（平成30年度事業継続箇所）

担当課：国道・防災課
担当課長名：村山 一弥

事業名	地域高規格道路 <small>しまばら</small> 島原道路 一般国道251号 <small>いでひらありあけ</small> （出平有明バイパス）	事業区分	一般国道	事業主体	長崎県
起終点	自： <small>ながさきけんしまばらしいでひらまち</small> 長崎県島原市出平町	至： <small>ながさきけんしまばらしありあけちよう</small> 長崎県島原市有明町	延長	3.4 km	
事業概要	島原道路は、九州横断自動車道と島原半島地域を連絡する地域高規格道路である。 一般国道251号出平有明バイパスは、島原道路の一部を構成し、一般国道251号島原中央道路や県道愛野島原線と一体となって広域ネットワークを形成する延長3.4kmの自動車専用道路である。				
H25年度事業化	都市計画決定	なし	H28年度用地着手	H28年度工事着手	
全体事業費	約75億円	事業進捗率	約11%	供用済延長	— km
計画交通量	10,600台/日（H42）				
費用対効果 分析結果	B/C	総費用	(残事業)/(事業全体)	総便益	(残事業)/(事業全体)
	(事業全体) 1.2 (残事業) 1.4	60/73億円 事業費：57/70億円 維持管理費：3/3億円		88/88億円 走行時間短縮便益：64/64億円 走行費用減少便益：13/13億円 交通事故減少便益：11/11億円	
感度分析の結果	残事業について感度分析を実施				
【全体事業】	交通量：B/C=1.07~1.32（交通量±10%）	事業費：B/C=1.09~1.33（事業費±10%）	事業期間：B/C=1.1~1.3（事業期間±20%）	【残事業】B/C=1.31~1.61（交通量±10%） B/C=1.33~1.61（事業費±10%） B/C=1.39~1.52（事業期間±20%）	
事業の効果等	島原半島地域から九州横断自動車道、長崎空港、整備中の新幹線駅等へのアクセス向上 救急医療体制の強化支援や生活圏の拡大等につながる島原半島地域と長崎、県央地域との地域連携強化 災害時の代替路確保				
関係する地方公共団体等の意見	地元自治体で構成する「島原半島幹線道路網建設促進期成会」「一般国道57号等県南地域幹線道路整備促進期成会」等より、整備促進の要望がされている。				
事業評価監査委員会の意見	長崎県公共事業評価監視委員会において、審議の結果「事業継続」が妥当であると認められた。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	—				
事業の進捗状況、残事業の内容等	用地進捗率約15%、事業進捗率約11%（平成29年3月末時点） 平成29年度は、用地取得を継続しつつ、工事進捗を図り早期完成を目指す。				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	事業着手時には把握できなかった農地の代替地の確保が用地取得の条件となったため用地取得の難航が課題。必要な農地の代替地面積を確保できたため、引き続き用地取得及び工事の進捗を図り早期完成を目指す。				
施設の構造や工法の変更等	建設発生土の有効活用、新技術の採用等による工事コストの縮減に努めていく。				
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。				

事業概要図



- ※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
- ※ 総費用と総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。